

第 68 回 東日本建築教育研究会・長野大会 研究協議会（製図分科会） 報告

開催日：平成 30 年 8 月 3 日（金）

会 場：ホテルメトロポリタン長野

参加者：49 名

テーマ：「宮後浩先生に学ぶ、魅せる手描きパースのテクニック」

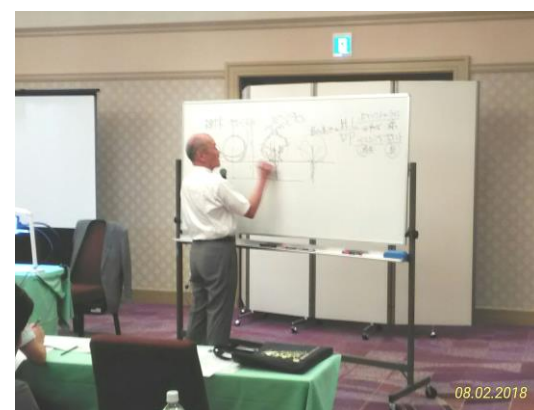
研究協議 I（製図分科会）では、全体会講演につづき（一社）日本パーステック協会理事長の宮後浩先生から実践的なパース技法を学ぶ内容で実施いたしました。宮後浩先生は、日本を代表するパースの指導者であり、「なぞっておぼえる遠近法スケッチパース ツボとコツ」、「パーステック」、「インテリアプレゼンテーション」など多くの著書があります。その先生のご講義とあり、40 名を超える多くの先生方に参加いただきました。

樹木や車・人物などの添景の描き方のポイントや光と陰影のテクニックなどを中心にご講義いただきました。予定では参加された先生方にパースを実際に描いていただくという計画をしていましたが、機材トラブルにより宮後先生が実際に描いているところを見学する形式に急遽変更いたしました。参加された先生方には、大変ご迷惑をおかけしました。アンケートにもあるように、多くの先生方から「大変参考になった。」との声をいただき、今回の研究協議会が概ね成功に終わったのではないかと感じています。

宮後先生がご講義の中で、「まず教師が学び、好きにならないと生徒に教えられる。」とおっしゃられていましたが、パースはもとより全ての授業に通じるものではないかと感じ、それが先生方に伝わったと思います。

最後になりますが、（一社）日本パーステック協会理事長の宮後浩先生並びに、関東支部の関谷真理子様には感謝申し上げます。また、研究協議会にご参加いただきました先生方並びに、運営をお手伝いいただきました長野県の先生方にあらためてお礼申し上げます。

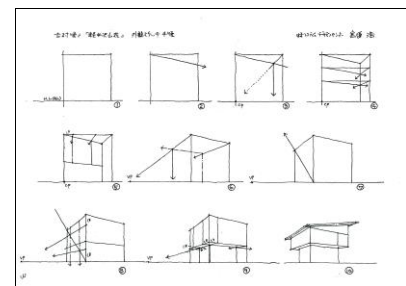
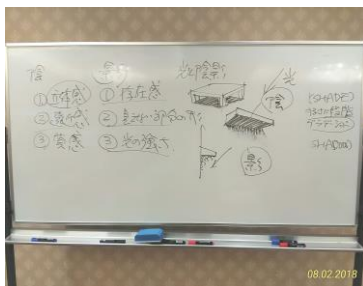
今後も製図分科会の活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。



■アンケート結果

1. 研究協議会全体を通しての感想をお聞かせください。(一部抜粋)

- ・各種資料をいただき、参考になる情報を教えていただくことができました。
- ・添景などについて学ぶ機会が多くないため、今後の指導に取り入れていきたいと思った。
- ・パースは難しいと思っていたが、描き方を覚えれば比較的簡単に描けるんだなあと思った。
- ・光と陰影についての話がわかりやすかった。
- ・パースに興味があったので、プロの先生にテクニックを直に教えていただき、大変参考になった。この手の企画をまたお願いしたい。
- ・非常に勉強になりました。話しが面白く、生徒へ伝えたい内容でした。手描きスケッチが工業高校生の強みになると価値があると思います。
- ・描くポイントをわかりやすく解説してくれて、とても参考になった。コピーのテクニックを間近で見られて、挑戦してみたいと思った。
- ・パースを描くことに苦手意識がありましたが、今回の講義を受けて、楽しくパースを描けそうだと感じました。家に帰って積極的に練習して、パースが描けるようにしたいです。
- ・宮後先生の技術を目の前で見ることができ、大変良かったです。今後も現場で効果を上げているプロの方の話や技術を感じることができる大会であればと感じました。
- ・製図の中で、パースの指導について学科内で意見の違いもあり、今はカリキュラムに入れていません。しかし、今回の研修会を通じて、今後授業に取り入れたいと感じました。
- ・宮後先生の実演を間近で見られて大変良かったです。さらに、動画もOKなんてラッキーでした。
- ・宮後先生の話に引き込まれました。パースの基本的なことを教えていただき、非常に参考になった。私も苦手ですが、自分でもう少し練習しようと思えました。
- ・添景は授業でも取り入れていますが、資料を配布し描きなさいと、一方通行な指導だったので、大変参考になりました。手描きの大切さを確認できました。
- ・トラブルもありましたが、実際に授業で生徒に伝えることを多く学びました。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。もう一度きちんと見たいです。プロジェクターの不備が残念でした。
- ・機器類のトラブルは仕方ないですが、代替案も必要では？おもしろい内容なのにもったいない。



2. スケッチやパースを活用している授業がありましたら、授業に○を付けていただき、具体的内容を簡単にお書き下さい。複数回答可。

- ・製 図 [16] ・工業基礎 [10] ・実 習 [19] ・情報基礎 [0] ・課題研究 [11]
- ・その他 [0] ・座 学 [3]

具体的内容

- ・1点, 2点透視図 [16] ・外観, 内観パース [6] ・立体表現 (アイソメ, 三角法等) [3]
- ・3D-CAD パース [3] ・立体物のスケッチ [2] ・インテリアパース [2]
- ・卒業設計の表紙 [1] ・コンペ用のパース [1] ・イメージパース [1]

3. 製図分科会で取上げて欲しいテーマやご要望がございましたらお書きください。

- ・パースに関する指導について (実演形式, 着色・プレゼン方法, 今年度の継続等) [7]
- ・CADに関する指導について (Jw_cad, SketchUp, 3D-CAD, BIM, ARCHI-CAD 等) [4]
- ・設計デザインコンペに関する指導について (入選必勝法, 入賞経験校の先生の話) [2]
- ・その他 (図面理解の方法, 平面を立体的に理解する方法, スケール感の養成, ランドスケープデザイン, 視覚的教材)

■建築設計製図資料「平面図・立面図・断面図の描き方」

製図分科会で研究をつづけてきた初期製図の指導方法を冊子 (建築設計製図資料「平面図・立面図・断面図の描き方」) にまとめました。内容は、1/50 の平面図を 1/100 の表現で描くことにより図面の描き方を学ぶ方法や平面図と関連付けて立面図や断面図を描く方法。また、屋根伏図を学びながら、立面図や断面図に表現する資料など、初期製図指導の参考にしていただけるような内容が掲載されています。

冊子の数に限りがございますので、長野大会では各都道府県理事と研究協議会 (製図分科会) に参加された先生方に配布をさせていただきました。各都道府県や学校で回覧していただき興味を持った方がいらっしゃいましたら、担当者へメールでご連絡ください。データ (PDF) をお送りいたします。指導の一助としていただければ幸いです。

今後も製図の指導方法について研究を重ね、会員の皆様に情報提供していきたいと考えています。製図指導に関するご意見やご要望をお待ちしております。

連絡先 : seizu@hnkkk.org

製図分科会主査 よしま 吉城 まもる 守

埼玉県立大宮工業高等学校 建築科 TEL 048-651-0445

